

エコアクション21

環境経営レポート

レポート対象期間 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日



発行日 令和5年6月30日

株式会社住栄興業

SUMIE COGYO

環境活動レポート 目次

内容

1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要	3
3. 組織図	5
4. 環境活動計画	6
5. 2020 年度環境活動計画表	6
6. 中期環境目標	7
7. 環境目標の実績	8
8. 2020 年度 環境活動計画実施状況確認及び次年度への取組	9
9. 環境関連法規への違反・訴訟の有無	10
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	11

1. 環境経営方針

環境理念

我社は、産業廃棄物の収集・運搬業務において、経営における課題とチャンスを確認にして環境及び経営理念を下記のとおり定めております。

1. 市民に評価される実績と信用を積み上げる。
2. 省資源、省エネルギーの取り組みを実施します。
3. 地球環境の保全に配慮して行動します。

行動方針

1. 二酸化炭素排出量・削減の推進
事業所内の5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・躰）に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減を推進します。また社有車における、アイドリングストップ、エコドライブに努めます。
2. 廃棄物排出量・削減の推進
事業所から出る廃棄物は分別とリサイクルに努め、排出量の削減を推進します。
3. 総排水量・削減の推進
事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。
4. 一般廃棄物の収集・運搬業務及びサービスにおける環境に配慮します。
5. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制等を遵守することを誓約します。
6. 上記の取り組みを従業員に周知徹底をさせます。

2011年5月21日 制定
2017年4月1日 改定
2021年10月28日 改定

株式会社 住栄興業
代表取締役 林 勝子

2. 組織の概要

① 事業所名及び代表社名

株式会社 住栄興業

代表取締役 林 勝子

② 所在地

〒571-0038 大阪府門真市柳田町 14-3

③ 責任者及び担当者名連絡先

環境管理責任者

担当者 林裕哲

電話番号 06-6905-1517

FAX 06-6905-1518



④ 事業内容

会社設立年月日 昭和 38 年 4 月 1 日

決算期間 4 月 1 日 ~ 翌年 3 月 31 日

資本金 1,000 万円

⑤ 事業活動

一般家庭ごみ収集業務・し尿収集運搬業務

⑥ 事業の規模

従業員数 15 人

敷地面積 153 m²

収集・運搬量 9,120t/年 (2020 年度実績)

収集・運搬車両 4 台 (2t バキューム車 1 台、2t 塵芥車 3 台)

⑦ 対象範囲 (取組の対象組織)

株式会社 住栄興業 大阪府門真市柳田町 14-3

⑧ 収集作業地域及びの内容

自治体との委託契約内容に基づく一般ごみ等収集業務、し尿収集運搬委託業務

有効期間: 門真市 No.14 令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

し尿収集運搬業務 令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

⑨ 事業内容

一般家庭ごみ収集運搬業務、し尿収集運搬業務 (いずれも門真市委託)

廃棄物の種類 家庭ごみ、生し尿

車両総数 2t 塵芥車 4 台

2t バキューム車 2 台

⑩ 認証登録範囲

一般家庭ごみ収集業務・貨物軽自動車運送事業

塵芥車

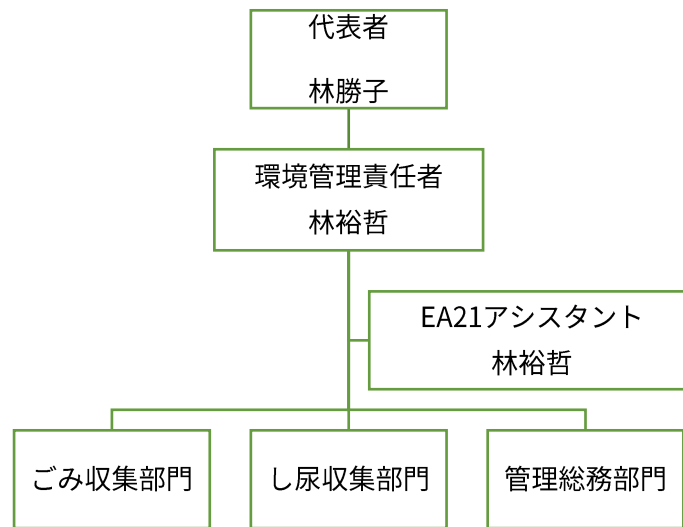


バキューム車



3. 組織図

■ 実施体制



■ 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 林裕哲連絡先 電話番号 06-6905-1517
FAX 06-6905-1518

■ 各自の役割

① 代表取締役

- 環境方針を策定する。
- 環境目標及び環境行動計画を承認する
- 環境経営システムの構築と運用、環境目標及び環境行動計画を立案実施する
- 環境目標の達成状況について、毎年4月に、確認・評価し、見直しを行い必要な場合は改善等を指示する。

② 環境管理責任者

- 環境への環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックを行う
- 環境目標の設定を指示する。
- 毎年5月に環境目標の達成状況を環境管理責任者に報告をする。必要な場合は問題

点の是正を指示する。

③ 従業員

- 自らの作業において環境への負荷の軽減に努める。

4. 環境活動計画

環境目標		活動	責任者	担当者
CO2削減	購入電力	冷暖房管理 夏28度±1度 冬20度±1度 不要電力の消灯の徹底	林	林
	ガソリン・軽油使用量	燃費データの把握 作業運搬ルートの策定効率化 車輛整備	林	従業員
その他	水資源投入の削減	水漏れ防止の徹底 節水の徹底	林	従業員
	廃棄物の削減 リサイクル商品の活用	コピー用紙両面使用 エコマーク商品の購入 生ゴミの再利用 ゴミの分別と計量の徹底	林	林
	バキューム車の環境対策	悪臭防止（年1回の設備点検の実施） ディーゼル車排ガス浄化	林	従業員

5. 2020 年度環境活動計画表

2022年4月 ～ 2023年3月	
2022年04月	環境目標達成状況の確認 燃費データ把握（期間中継続）
2022年05月	火災訓練の実施（教育） 環境活動レポートの見直し
2022年06月	経過状況の確認（継続確認）
2022年07月	
2022年08月	夏季 エアコン・水道 適正使用 の徹底
2022年09月	
2022年10月	
2022年11月	
2022年12月	冬季 ガス・エアコン 適正使用 の徹底
2023年01月	
2023年02月	経過状況の確認（継続確認）
2023年03月	最終確認

6. 中期環境目標

従来は基準値年度を平成 27 年度実績としていたが、業容の拡大、天然ガス車の導入、電力の CO2 排出係数の変更等を考慮し、2021 年度の実績を基準とし、新たに向う 3 ヶ年間の目標を設定した。

項目	単位	基準年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
		2021 年度実績値	目標値	目標値	目標値
			(基準年度比 1%減)	(基準年度比 2%減)	(基準年度比 3%減)
二酸化炭素	Kg- CO2	67070 CO2 係数変更	66,399	65,729	65,058
購入電力	kWh	9,140	9,049	8,957	8,866
ガソリン	L	201	199	197	195
軽油	L	19,991	19,791	19,591	19,391
天然ガス	kg	4,377	4,333	4,289	4,246
上水量	m3	269	266	264	261
一般廃棄物 排出量	kg	48.8	48.3	47.8	47.3

*電力の二酸化炭素排出係数は、2018 年度～2020 年度は、0.496kg-CO2/kWh を使用。
2021 年度～2024 年度は、0.351kg-CO2/kWh を使用

7. 環境目標の実績

項目	単位	基準年度	2022 年 度	2022 年 度	実績/目標	評価
		2015 年 度	目標値	実績値		
			(2018 年度改 定)		(%)	
二酸化炭素排出量	Kg- CO2	31,461	66,399	55,560	53.6	○
購入電力	kWh	1,490	9,049	9,509	105.1	×
ガソリン	L	370	199	0	—	—
軽油	L	7,500	19,791	12,489	63.1	○
天然ガス	m3	3,744	4,233	0	—	—
上水量	m3	210	266	171	64.3	○
廃棄物排出量	kg	51	48.3	28	58	○

*2021 年度の購入電力の二酸化炭素排出係数は、2020 年度関西電力の 0.351kg-CO₂/kWh を使用。

8. 2020 年度 環境活動計画実施状況確認及び次年度への取組

■ 購入電力（二酸化炭素排出量）の削減

冷暖房管理（夏 28 度±1 度、冬 20 度±1 度）

不要電力の消灯の徹底

- 活動結果 == > ○

事務室、休憩室ともに冷暖房の温度調整や使用状況をしっかり実践できていた。

節電にも心掛け時間帯や使用場所によって消灯できていた。

■ ガソリン・軽油・天然ガス使用量（二酸化炭素排出量）の削減

エコドライブに心掛け燃費データの把握

作業運搬ルート of 策定効率化

車輛整備

- 活動結果 == > ○

従業員はエコドライブ、安全運転の実施

給油量の記録、月次の従業員への開示を毎月行った。

作業及び収集に効率の良い作業ルートを地図化し、それに沿った運行を行った。

■ 水資源投入の削減

洗車時、洗濯時の水止め徹底

全ての水道に於いて節水を徹底

- 活動結果 == > ○

節水活動を従業員皆で実施

■ 塵芥車、バキューム車の環境対策

清掃・点検・整備による故障や悪臭防止

ディーゼル車排ガス浄化

■ 活動結果 == > ○

塵芥車・バキューム車は毎日運行前の確認を実施

塵芥車・バキューム車は定期的な点検・整備を整備工場にて実施

それぞれの収集設備も製造元もしくは委託工場にて点検・整備を実施

9. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

■ 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規、浄化槽法及び清掃に関する法律に対して違反はありません。

■ 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟、関係当局より違反等の指摘は、過去 3 年以上ありませんでした。

法律・条例・規則	要求事項・責務	法令等の適用を受ける設備、行為	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 門真市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	事業者及び地方公共団体の処理	し尿汚泥 一般廃棄物収集	○
道路運送車両法	保安基準・点検整備	塵芥車・バキューム車	○
NOX・PM法	自動車排ガス低減	塵芥車・バキューム車	○

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

■ 全体の取組評価

- 業務量が昨年度対比で4割程度の減少、さらにそれに伴い従業員が22人体制から15人体制へ、作業車両も併せて減少したため、燃料の使用量が減少した。
- 一方、人員の減少はしたが使用する電力は減少せず。
空調を使用する部屋のスペースは変わらず、使用電力の削減と人員数の削減が比例しない状況になっている
- 2023年1月における電力使用が突出して多い。
- 天然ガスステーションの減少、天然ガスボンベの耐用年数の問題があったため天然ガス車両は廃棄しました。
- 昨年度からデータの蓄積を念頭に置き、逐次燃料や電気使用量などの数値を見える化を実施し、月例のミーティング時に燃料使用量などの数値を社員に公開した結果、社員たちの燃費向上、安全運転の意識の向上に役立ち、数値改善への取り組みに大きく繋がりました。

■ 見直し・指示事項

- 空調の効率化: エアコンに加えてサーキュレーターを導入し、エアコンの設定温度を下げずに、空気の循環によって部屋の温度を適切に維持する。
- 電力節約の自動化: 電力の切り忘れを防ぐために、スマートプラグを導入し、設定時間での電源のオフ/オンを容易にする。
- 原因の調査と改善: 2023年1月の異常な電力使用について、引き続き調査を行い、異常な増加の原因が分かれば改善措置を講じ、改善につなげる。
- 社員への電力使用の適切な管理に対する注意喚起: 社員に適切な電力使用の重要性を啓発し、電源のオフ/オンを徹底するよう奨励する。
- パッカー車の軽油資料を3ヶ月単位で評価し、燃費向上策に役立てる。

令和5年 3月31日

株式会社 住栄興業
代表取締役 林 勝子